

経営比較分析表（令和6年度決算）

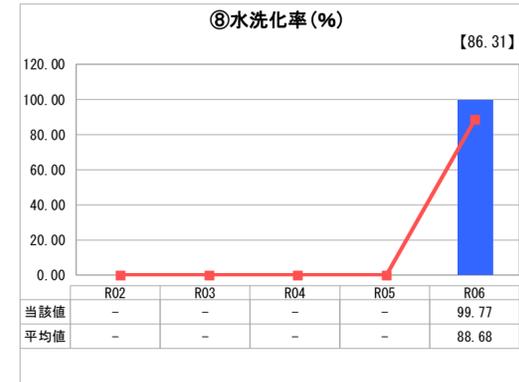
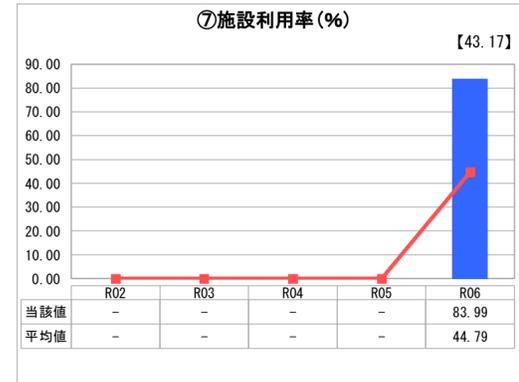
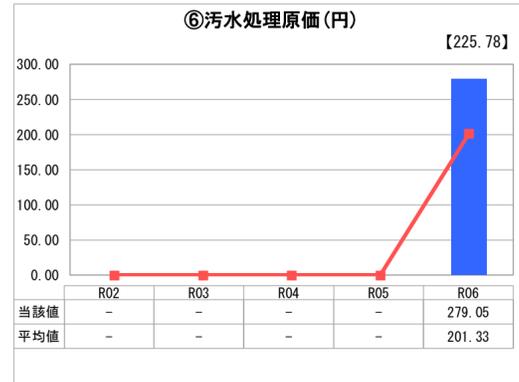
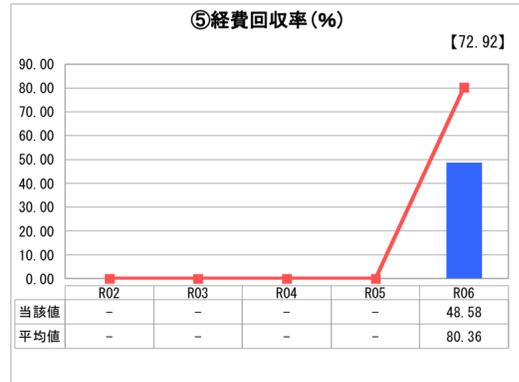
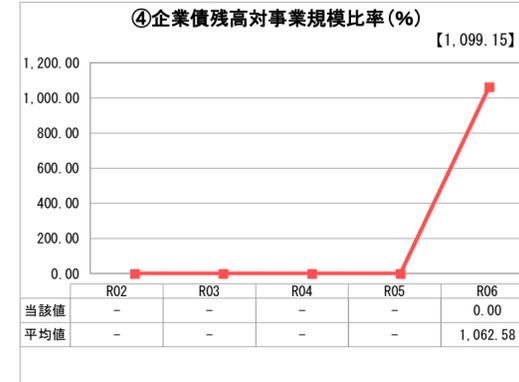
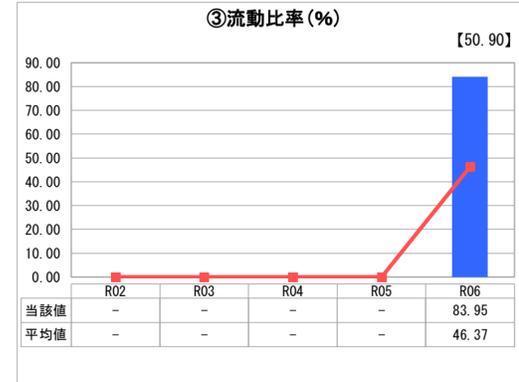
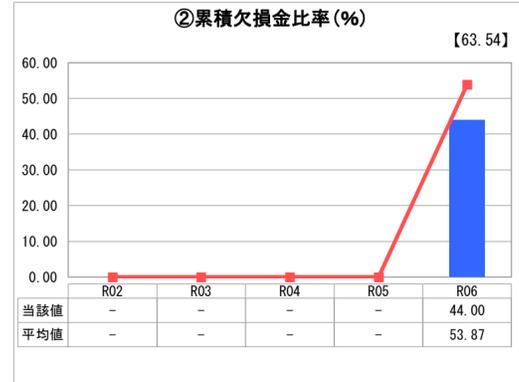
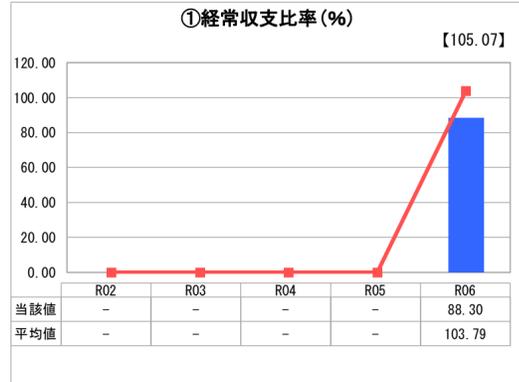
福井県 永平寺町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	86.14	24.55	67.56	2,530

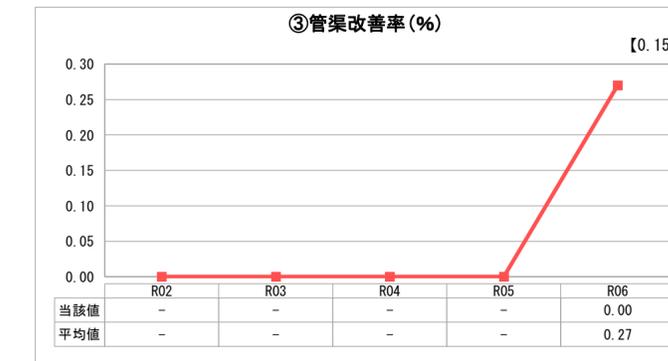
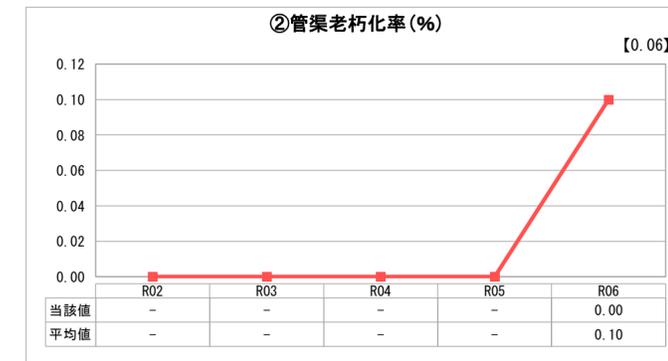
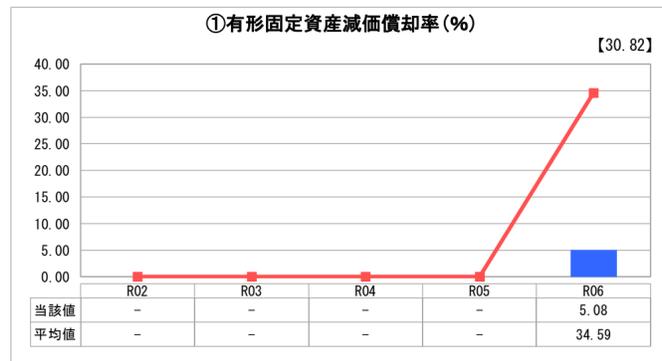
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,644	94.43	186.85
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,307	1.81	2,379.56

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率については100%を下回っており、総収益の大部分を一般会計からの繰入金に依存している状態となっています。下水道事業会計の公営企業法適用に伴い、経営状況の見える化が図られたことから、令和6年度決算を基に経営戦略の見直しを行い、使用料改定の検討を実施することで財源確保等の経営改善に向けた取組を行ってまいります。

② 累積欠損金比率は0%を超える値となっています。使用料改定や計画的な施設更新等により維持管理費の削減に努めます。

③ 流動比率は100%を下回っており、今後も継続して設備等の更新も必要であることから、使用料収入の改善を図ってまいります。

④ 経費回収率は100%を下回っており、類似団体平均値を大幅に下回っています。人口減少等により使用料収入の増加も見込めないことから、適正な使用料収入の確保や汚水処理費の削減に努めてまいります。

⑤ 汚水処理原価は類似団体平均値を大幅に上回っています。不明水対策や業務効率化等により、さらなる維持管理費の削減に努めてまいります。

⑥ 施設利用率は類似団体平均値を大幅に上回っています。今後は人口減少等に伴い利用率の低下が見込まれるため、本指標を分析して必要な対策を講じてまいります。

⑦ 水洗化率は類似団体平均値を上回っている状況ですが、今後も公共下水道の接続を推進し、水洗化率100%を目指します。

2. 老朽化の状況について

本町の特定環境保全公共下水道事業は昭和55年4月に志比処理区で、昭和62年4月より中央処理区で供用を開始しました。志比浄化センターについては、平成30年度末で汚水処理を廃止し、中央処理区への接続を完了しています。中央浄化センターについては供用開始から37年が経過し、機械設備等の更新時期を迎えているためストックマネジメント計画に基づき令和4年度より大規模な改修に着手しており、設備の長寿命化を図ってまいります。また、令和6年度から公営企業法適用化し、固定資産台帳の整備を行いました。今後は資産の老朽化状況を適切に把握し、着実に老朽化対策を進めてまいります。

全体総括

本町の特定環境保全公共下水道事業は収益の大部分を一般会計からの繰入金に依存し、経営状況は脆弱な状況が続いています。使用料収入は人口減少等の影響から今後の増加は見込めず、一方で施設や管路の老朽化により修繕費や工事費が増加する見通しとなるなど課題が多いため、今後は施設改修や管路更新の詳細な検討を行うと共に、令和2年度に策定した公共下水道事業経営戦略の改定を行い、経営健全化・事業効率化を進めてまいります。また、経営状況を可視化し、住民への周知及び理解をより一層図ります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。